

保護者 様

浜松市立西小学校長 渡辺 浩司

## 全国学力・学習状況調査の分析と報告について

清秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は学校の教育活動に多大なご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受け、本校6年生の学習状況の分析や対策の検討結果について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1 学習状況について 【資料1参照】

今年度の西小の6年生は、国語・算数の平均正答率が、ともに全国平均及び静岡県平均、浜松市平均を上回りました。これは、5年生までの積み重ねはもちろん、家庭学習にも真剣に取り組んできた結果と言えます。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。

#### 2 児童質問紙（意識調査）について 【資料2参照】

児童質問紙では、「基本的な生活習慣に関わる状況」や「学習に関わる状況」などが調査されました。結果は、全国平均を上回った回答がほとんどで、生活習慣、学校生活、学習状況などの質問において全国平均を上回る状況にあります。

結果からも西小の児童は、基本的な生活習慣が身に付いています。そして、安心して生活していることが伺えます。また、学習にも意欲的取り組んでいることが分かります。今後も子供たちのよさを積極的に認め、励ましながら、家庭・地域・学校と連携を図って教育活動を進めていきたいと思っております。

調査問題は、以下のURLから閲覧できます。

令和6年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料

国立教育政策研究所 <https://www.nier.go.jp/24chousa/24chousa.htm>

6年生については、お子さんを通して全国学力・学習状況調査の個別の「調査結果」をお渡ししました。今後、家庭学習の進め方を考える際にお役立てください。

# 【資料1】学習状況について

調査結果（正答率）

	西小	浜松市	静岡県	全国
国語	77%	69%	67%	67.7%
算数	72%	63%	62%	63.4%

(○…成果 ▲…課題)

## 国語

- 多くの問題で正答率が全国や静岡県、浜松市を上回っている。
- 「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の全領域で安定した力が身に付いている。

【正答率】	西小	浜松市	静岡県	全国
大問2二	66.2%	58.3%	57.5%	56.6%
大問3三	83.1%	72.5%	69.7%	72.6%

小国課題 ②二 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

正答率 浜松 58.3% 全国 56.6% 無解答率 浜松 5.7% 全国 4.9%

問題の概要 【高山さんの文章】に、【高山さんの取材メモ】をもとにして考えた「たてわり遊び」のよさを高山さんの意図にしたがって書く。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について  
 6年生がくふうしていること  
 ○遊びたいことを下級生に聞く  
 ○ルールをくふうする（略）  
 下級生に聞いたこと  
 ○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった  
 ○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた  
 ○4年生 みんなが楽しそうであれしかった

【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書く。

- 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように文章を書くことができている。その際には、事実と感想、意見とを区別して書くなどして書き表し方を工夫している。

（大問2二：取材メモを基に学校のよさについて書く。「B書くこと」）

〈浜松市の結果（概要）より〉

**正答例**

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「みんなが楽しそうであれしかった」という4年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができ、みんなが仲良しになるところだと思います。

**誤答例**

その結果、「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という1年生や、「好きな遊びや新しい友達が増えた」という3年生、「みんなが楽しそうであれしかった」という4年生がいました。  
 ※たてわり遊びのよさについて触れていない。

**誤答例の分析と課題**

記述の条件のうち【高山さんの取材メモ】から「下級生に聞いたこと」を取り上げて事実を書いているが、もう一つの条件「たてわり遊び」のよさについて考えたことが書けていない。「たてわり遊び」のよさは、高山さんが文章を書こうとした目的や意図に当てはまる。その他の資料からその目的や意図を適切に取り出し、高山さんの感想、意見として書くことができなかった。

**授業改善のポイント**

子供が、書いた文章を客観的に捉えられるよう、目的を明確にした上で、互いの文章のよさを見付けながら読み合う場面を設ける。その際、自分が伝えたいことは何かを意識しながら、自分の意見を書くことができているか、それを裏付ける事実が取り上げられているか等、吟味する。さらに、読み合った後には、文章の修正の方向性を見出し、実際に書き直す時間を確保する。

- 人物像や物語の全体像を想像したり、表現の効果を考えたりすることができている。

（大問3三：物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。「C読むこと」）

- ▲ 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することに課題がある。

（大問1一：取り組みを紹介する内容をメモにどのように整理したのかについて説明する）

- ▲ 漢字を文の中で正しく使う問題への無回答率が高かった。

（大問2三ア：きょうぎ（競技）…無回答率9.2%）

算数

- 多くの問題で正答率が全国や静岡県、浜松市を上回っている。
- 「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の全ての領域で安定した力が身に付いている。

〈領域別平均正答率〉

領域		西小	静岡県	全国
A	数と計算	73.6%	64.2%	66.0%
B	図形	75.8%	64.1%	66.3%
C	測定			
D	変化と関係	62.1%	49.4%	51.7%
E	データの活用	68.1%	60.9%	61.8%

▲ 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、そのわけを言葉や数を用いて記述することに課題がある。

(大問4(3):道のりが等しく、時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く)

〈浜松市の結果(概要)より〉

**小算数問題** 問(3) 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること

正答率 浜松 28.7% 全国 31.0% 無解答率 浜松 3.2% 全国 2.4%

**問題の概要** 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いか判断し、そのわけを書く。

かなたさんとほのかさんは、それぞれ家から学校まで歩いて行きました。家から学校までの道のりは、左の図のとおりです。家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分かかりました。それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いでしょうか。また、選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

**正答例**

(かなたさんを選択して)  
かなたさんの家から学校までの道のりは、 $900+300=1200$ で、1200mです。かなたさんとほのかさんが歩いた道のりは、1200mで同じです。かかった時間は、かなたさんのほうが短いので、道のりが同じとき、時間が短いほど速さが速いので、かなたさんのほうが速いです。

**考えられる誤答例**

(かなたさんを選択して)  
かなたさんとほのかさんが歩いた道のりはどちらも同じだからです。  
※かかった時間が短い方が速いことに触れていない。

(かなたさんを選択して)  
かなたさんのほうがほのかさんよりかかった時間が短いからです。  
※歩いた道のりが同じであることに触れていない。

**誤答例の分析と課題**  
二人のどちらが速いかを判断することはできているが、道のりと時間の両方に触れて、適切に表現することができていない。

**授業改善のポイント**  
歩いた道のりが同じ場合には、かかった時間が短いほど速いといえることや、歩いた時間が同じ場合には、歩いた道のりが長い方が速いといえることを、それぞれの場合について、子供が具体的にイメージできる場面を取り上げながら指導する。また、子供が考えを表現した後、理由が適切に述べられている表現例を示すなどして、子供が、自分が表現したことと適切な表現を比べる活動を設定し、正しく表現できるように指導する。  
数学的表現を用いて説明し伝え合う活動の際には、考えを伝え合うだけでなく、適切に表現できているか、過不足なく表現できているかなどを振り返り、表現を修正・改善する活動を併せて行うことが必要である。

▲ 除数が小数である場合の除法の計算をすることに課題がある。

(大問4(1):  $540 \div 0.6 \dots$  正答率 67.7% < 全国 70.1%)

〈対策について〉

- ・国語科【目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること】については、学校の授業の中で、自分が伝えたいことと聞き手の求めていることを明確にするとともに、どのように情報を整理したらよいかを検討する学習を経験する。
- ・国語科【漢字を文の中で正しく使うこと】については、語彙を増やしたり、漢字の基礎基本の定着を図ったりするために、授業や家庭学習で繰り返し練習するとともに、日常生活の場面で適切に活用できる場面を設定する。
- ・算数科では、授業の中で、実生活とのつながりを意識した場面を設定したり、問題の解決方法を式や言葉を用いて説明できるように指導したりする。
- ・全体的にはよくできているものの、今後も教師が児童のつまずきを理解し、復習を授業の中や家庭学習に取り入れ、家庭と連携して取り組んでいきたい。

## 【資料2】児童質問紙（意識調査）について

+…全国を上回る    -…全国を下回る  
（「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた割合 %）

設 問	西 小	全 国	差
朝食を毎日食べていますか。	97.1	93.7	+ 3.4
自分には、よいところがあると思いますか。	95.5	84.1	+11.4
将来の夢や目標をもっていますか。	89.6	82.4	+ 7.2
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	97	95.9	+ 1.1
困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	76.2	67.1	+ 9.1
学校に行くのは楽しいと思いますか。	89.6	84.8	+ 4.8
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	88	75.8	+12.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	88	83.5	+ 4.5
国語の勉強は好きですか。	79.1	62	+17.1
国語の勉強は大切だと思いますか。	100	94.5	+ 5.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	98.5	93.2	+ 5.3
算数の勉強は好きですか。	74.7	61	+13.7
算数の勉強は大切だと思いますか。	98.5	94.6	+ 3.9
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	97	94.1	+ 2.9
英語の勉強は好きですか。	88.1	69.3	+18.8
英語の勉強は大切だと思いますか。	97	92.1	+ 4.9

### 【特に差が大きかった設問】

#### 「自分には、よいところがあると思う」+11.4

・家庭での励ましや良好な友人関係により、自己肯定感が高い子供が多いことが分かります。自分に自信をもっていることで、「夢や目標をもって生活している」という前向きな気持ちにつながっていると思われます。

#### 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」+12.2

#### 「国語、算数、英語の勉強が好き」国+17.1 算+13.7 英+18.8

・勉強が好きで、意欲をもって学習に取り組んでいることがよく分かります。知的好奇心が旺盛で自分と違う意見について、どうして、なぜと理由や根拠を考えたり共によりよい解決策を見いだそうとしたりする気持ちが高いことも分かります。今後も子供の興味関心を大切に、今、学習していることが今後どんな役に立つかが想像できるような授業を心掛けていきます。

☆今後も子供たちのよさを積極的に認め、励ましながら、家庭・地域・学校と連携を図って教育活動を進めていきたいと思っております。また、教師と子供、子供同士など温かい人間関係を築き、安心して楽しい学校生活を送ることができるよう子供たちの声に耳を傾けていきます。ご家庭でもお子さんの様子をよく見ていただき、相談相手になっていただけますよう、よろしくお願ひします。